

男女共同参画に関する市民、事業所調査

【兵庫県丹波篠山市】

| | |
|-------|--------|
| 個別事業費 | 609 千円 |
| 交付金額 | 304 千円 |

地域の実情と課題

令和8年度にて、第3次男女共同共同参画プランの中間見直しを行うにあたり、市民や事業所を対象に「家庭」「職場」「地域」などの観点から「男女共同参画」や「ワーク・ライフ・バランス」、「女性管理職登用率」などに関する実態や意識を把握するための調査を実施した。

目的・目標

市民や事業所の意識や実態、課題等の現状を把握する。

| | 目標・KPI | 目標 | 実績 | 達成率 |
|-------|-------------------|-----------------|---------------------|---------------------|
| 事業目標 | 調査票回収率 | 市民50% 事業所70% | 市民38.4% 事業所52.0% | 市民76.8% 事業所74.3% |
| 事業KPI | 市に期待する女性活躍事業の提案件数 | 10件 | 7件 | 70.0% |

事業の特徴

- ・市民意識調査は、市民2,000人を対象に、事業所調査は市内事業所150社を対象に実施、回答方法は、郵送またはインターネットを選択できるようにし、回答しやすい環境を整えた。
- ・男女共同参画に関する一般的な項目に加え、丹波篠山市の取組課題や事業内容に関する項目を設定し、丹波篠山市の取組の状況把握に努めた。

連携団体

- ・丹波篠山市商工会
- ・市内企業・事業所

事業の効果

- ・本調査により、市民や事業所の現状と意識を把握し、第3次男女共同参画プランの中間見直しに必要な根拠を得ることができた。
- ・調査を通じて、男女共同参画への関心を高めるとともに、寄せられた意見を今後の施策やセンターの運営に反映させる。

今後の課題

今回の調査においては、市民への周知が不十分であり、市広報紙への掲載を通じての協力依頼が不足していた。また、事業所に対しても、商工会との連携体制が不十分であった。次回調査時には、広報の仕方を再検討するとともに、関係機関との連携を強化し、回収率の向上を図り、より実態に即した課題やニーズを把握できるようにしたい。

第3次男女共同参画プラン中間見直しの基礎資料とすることを目的に、 市民及び事業所を対象に意識調査を実施

①調査対象

市民意識調査：満18歳以上の市民2,000人を
無作為抽出
事業所調査：市内事業所150社

②調査方法

調査票の配布は郵送、
回収は郵送またはインターネット

③調査期間

令和7年9月20日から令和7年10月31日

④回収状況

市民意識調査：37.1%
事業所調査：52.0%

⑤主な調査結果

・男女平等について

「学校・教育」では平等と感じる人が多い一方で、「政治の場」「社会全体」では男性が優遇されているとの認識が強く見られた。

・家庭生活について

「生活費の確保」で「主に夫」の割合が高いが、前回調査と比較すると、「夫婦同程度」の割合は、7ポイント増加し、女性の社会進出が進み、共働き家庭が増加したことが要因として考えられる。

・地域活動への参加について

住んでいる地域の不平等の要因について、「社会的なしきたりやならわし」の割合が高く、また、女性の積極的な地域活動や自治会などにおける役職登用の促進に有効だと思うものについては、「女性が積極的に参加しやすい雰囲気をつくる」「自治会の規約に女性役員の人数・割合を明記する」の順となった。

・仕事と家庭の両立について

現実では、男性では「仕事を優先している」割合が高く、一方女性では「家庭生活を優先している」割合が高くなっており、家庭生活における女性の役割が大きくなっている。しかし、前回調査と比較すると、「仕事と家庭生活をともに優先している」割合は5.7ポイント増加しており、特に男性では7.9ポイント増加した。

・ドメスティック・バイオレンス(DV)について

相談先について、「相談しなかった」と回答した人が多く、公的な機関や専門機関にほとんどつながっていない結果となった。より一層の窓口の周知徹底、相談しやすいしくみづくり等、ニーズに合った窓口体制の整備が必要である。